

# 第1学年〇組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主題名 めくもりの中で 低学年2－（4） 尊敬・感謝  
資料名 「そばにいてね」（めくもり）

## 2 主題設定の理由

○ 本主題は、「日ごろお世話になっている人々に、感謝する。」ことを主なねらいとしている。よい人間関係を築くには、互いを認め合うことが大切だがその根底には、相手に対する尊敬と感謝の念が必要である。この段階においては、特に身近で日ごろ世話になっている人々に気付き、感謝する気持ちと、それを具体的な行動に表す指導が求められている。現代社会は、地域の人ととのつながりが希薄になってきているといわれている。それは、身近な人々の思いや願いにふれ、すばらしさや優しさをはっきりと認識できる機会が少ないからだと思われる。本来人間は支え合いながら生きている。一人で生きているつもりでも、必ず身近な人々の世話になっている。しかしそのことに気付かず過ごしていることが多い。そんな状況の中では、感謝の気持ちも育ちにくい。

そこで、日ごろお世話になっている人々に気付け、感謝しようとする態度を育てることは大変意義深いと考える。

○ 本学級の児童は、学校生活や習い事や町内会の活動等を通して、お年よりの方も含め地域の方にいろいろな事を教えて頂いたり助けてもらったりした経験をもっている。しかし、それらのことをごく普通のこととしてとらえ、自分たちが支えてもらっている、お世話になっているという意識にまでは至っていない。

そこで、このような時期に、お年よりだけでなく身近にいる人々に日ごろからお世話になっていることに気付け、感謝しようとする態度を育てることは意義深いと考える。

○ 本資料は、児童と祖母のほのぼのとした関係を伝える詩と、お年よりのすばらしさや児童への優しさを具体的に表した活動の写真から構成されており、お年よりへ感謝しようとする態度を育てる資料である。

本時指導にあたっては、資料「そばにいてね」に掲載されている写真を地域のお年よりの写真と差し替える。児童とふれあう写真や公民館などで活動する写真を見て、場面の様子や思いや願いを考えていきながら、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入段階では、お年よりへの気持ちを深めるために、詩「おばあちゃん」を範読しおばあちゃんの優しさにふれる。そして広くお年よりをみつめていけるように、自分の祖父母や身近なお年よりのことを出し合わせ、「おじいちゃんやおばあちゃんのことをしよう。」というめあてを意識化させる。展開前段では、地域のお年よりの写真を見て、場面の様子や思いについて話し合う。はじめに、趣味を楽しむ写真や夏祭りのために活動する写真を見せ、お年よりの思いを補足説明していく。次に児童とふれあっている写真を見せ、お年よりの表情や手に目を向けさせその時の気持ちを考えさせる。このようにしてお年よりのすばらしさや児童をやさしく見守っていることに気付け、感謝しようとする気持ちを深める。展開後段では、価値の一般化を図るために、お年よりだけでなく身近な人々に対して、「すごいな」「やさしいな」「ありがとう」と思ったときのことをふり返り、価値を内面的に自覚できるようにする。終末では、交通安全指導をしてくださっているゲストティーチャーの〇〇さんに、一日も休まず見守ってくださっているわけなどを話して頂くことで、今後の生活での価値に対する意識の継続を図る。

## 3 本時のねらい

日ごろお世話になっている人々に気付き、感謝しようとする態度を育てる。

- 4 本時 平成20年11月19日（水） 第5校時 第1学年〇組教室に於いて

## 5 地域との関連（地域のひと・もの・ことの活用）

地域題材：めくもり 地域人材：民生委員

- 6 準備 詩「おばあちゃん」の拡大図 地域のお年よりの方の写真 道徳ノート

7 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 「おばあちゃん」の詩を読み、自分の祖父母や身近なお年よりのことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ つりが好き。</li> <li>○ 料理を一緒に作った。</li> <li>○ 給食を一緒に食べた。</li> </ul> <p style="text-align: center;">めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おじいちゃんやおばあちゃんのことをしろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お年よりへの気持ちを深めるために、ぬくもり「そばにいてね」の中から詩「おばあちゃん」を読み、掲示しておく。</li> <li>○ 自分の祖父母や身近なお年よりについて、知っていることや一緒にしたことを出し合うようにする。</li> </ul>
展 開 前 段	<p>2 身近にいるお年よりの写真を見て、場面の様子やお年よりの思いについて話し合う。</p> <p>(1) 教師から写真の説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民館のサークルで活動している方 (太極拳・編み物)</li> <li>○ 夏まつりで踊っている方</li> <li>○ 夏祭りでパトロールしている方</li> <li>○ あやとりを教えてくださいしている方</li> </ul> <p>(2) 竹馬の写真を見て、お年よりや男の子の気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">竹馬をしっかりと持っているおじいちゃんはどうな気持ちでしょう。</div> <p>① おじいちゃんの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○しっかりと持っているから、だいじょうぶだよ。</li> <li>○ がんばって。</li> <li>○ 安心して。</li> </ul> <p>② おじいちゃんに竹馬を持ってもらっている男の子の気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとう。</li> <li>○ できるかな。でも、おじいちゃんももってきてくれるから、安心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何をしているところなのかを、はっきりとらえさせる。</li> <li>○ お年よりの優しさやすばらしさに気付かせるために、願いや思いなどを教師が補足説明する。</li> <li>○ 男の子をやさしく見守っているようすをとらえさせるために、お年よりの表情や手に目を向けさせる。その後、道徳ノートの吹き出しにお年よりの気持ちを書かせることで、共感的に理解を深める。</li> <li>○ お年よりの気持ちをふまえ、男の子表情や動作に目を向けさせる。その後、道徳ノートの吹き出しに男の子の気持ちを書かせる。</li> <li>○ 身近な人やお年よりに対して、「すごいな」「やさしいな」「ありがとう」と思ったときのことを想起させる。</li> </ul>
展 開 後 段	<p>3 自分の生活をふり返り、身近な人やお年よりとふれあった時のことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お年よりの方がどんぐりごまづくりを教えてくださいした時のこと。</li> <li>○ PTA会長さんが朝、あいさつをしてくださいした時のこと。</li> <li>○ ピアノの先生が教えてくださいした時のこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 想起しやすくするために、給食室の先生が給食を作っている写真やお年よりとどんぐりごまを作っているの写真を提示する。</li> <li>○ 一日も休まず交通安全指導をしてくださっている〇〇さんを紹介する。交通安全指導を続けている理由や喜びなどを話して頂くようにする。</li> </ul>
終 末	<p>4 ゲストティーチャー〇〇さんの話をきく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童がお世話になっている人に対して、感謝しようとする意識の継続を図る。</li> </ul>

8 板書計画

（おじいちゃん、おばあちゃん）  
つりがすわ。

いっしょにりまわりをつくった。  
いっしょにキヤッチボールをした。

おじいちゃんやおばあちゃんのことを見てみよう。

「そばにいてね」

- ・ たいきよくけん
- ・ あみもの
- ・ なつまつりでおどり
- ・ なつまつりでバトロール
- ・ むかしあそび（あやとり）

たけうまをきこってきこっている男の子のまもち

おじいちゃん、しっかりもててくれて、  
ありがとう。  
あんしんだ。  
やさしいな。

たけうまをしっかりともっているおじいちゃんのみもち

しっかりもっているから、あんしんして、  
がんばって。  
だいじょうぶだよ。

まわりにいる人のことを「すこいな」「やさしいな」「ありがとう」「おき」などまの「た

かたやま えみごらん

9 道徳ノート

どうとくノート

ねん くみ

（

おじいちゃんやおばあちゃんのことを見てみよう。

「そばにいてね」

○ たけうまをきこってきこっている男の子はどんなまもちでしょう。

○ たけうまをしっかりともっているおじいちゃんは、どんなまもちでしょう。